

広域観光周遊ルート形成計画

Ⅰ 広域観光周遊ルートに関する基本的事項

1 名称・コンセプト

広域観光周遊ルートの名称
<p>主題：「日本の奥の院・東北探訪ルート」 “Exploration to the Deep North of Japan”</p> <p>副題：『もう一つの日本・東北 山の彼方の美しい四季と歴史文化、食文化を探訪するルート』 ‘Another Japan, TOHOKU. Beautiful four distinct seasons, history, culture and cuisine of the Other Side of the Mountain.’</p>
広域観光周遊ルートのコンセプト
<p>コンセプト：桜と雪の回廊、祭り、紅葉、樹氷。色彩あざやかな四季を奏で、多くの詩人を魅了してきた美しい自然と、豊かでもあり厳しくもある風土が育んだ東北の歴史文化と食を探訪する旅。そこには人と自然が共生する風景と、自然を畏敬し山川草木を慈しむ中で生まれた多様な芸能と食文化がある。人と自然が調和する東北を旅する人は、近代都市の風景とは異なる、山の彼方のもう一つの日本を知ることになる。</p> <p>対象市場：東北においても今後増加することが見込まれる個人旅行及び小グループ</p> <p>対象国想定：台湾、香港、中国（上海・広州）、ASEAN、欧米、オーストラリア</p> <p>ルートの特色：東北各地における、自然景観や歴史的・文化的に特徴のある観光拠点に、主に公共交通機関及び二次交通を利用して周遊を図る。主要な訪問地や宿泊先では、東北の名産や郷土料理を楽しめるだけでなく、体験や交流を通して、日本の未知の領域を感じることができる。</p> <p>Concept of the route : Flowers, festivals, autumn leaves, and snow monsters. Northern Japan attracts many poets with its four distinct and vivid seasons. A trip to explore its history, culture, or cuisine offers a chance to view a rural setting full of regional customs and culture. People here coexist with nature to produce plentiful crops. Visit the deep north in Tohoku and you will discover another Japan of the Other Side of the Mountain.</p> <p>Target Markets : FIT (Free Individual Tour) and Small Group Markets that are expected to grow in the future in the Tohoku region.</p> <p>Target countries : Taiwan, Hongkong, China(shanghai/Guangzhou),ASEAN, Europe, Australia</p> <p>Features of the route : Independent travelers or small groups plan tours to naturally, historically or culturally important sightseeing places in the Tohoku region using public transportation. The travelers can enjoy specialties of Northeastern Japan and local cuisine at travel destinations or hotels. Also the tours can provide new experiences in Japan to exceed expectations through various activities or exchange with locals.</p>

2 対象地域

(1) 広域観光拠点地区

○ 広域観光拠点地区①「弘前」(青森県弘前市)

広域観光拠点地区①の説明	<p>○ コンセプトとの関係 400年の歴史を有する城下町でありながら洋風建築物が現存しているなど、「和」と「洋」の要素を兼ね備え、岩木山を遠景として、四季折々に自然豊かな町歩きを楽しめる。特に弘前城の桜、りんごの花と実に囲まれる岩木山の風景、豪華な山車が行き交うねぶた祭りは素晴らしい。じゃっば汁などの日本海の海の幸のほか、フレンチやアップルパイも名物。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 青森県西部に位置する津軽地方の中心部</li> <li>・ アクセス 東北新幹線新青森駅から特急津軽で約30分 東北自動車道大鱈・弘前ICや黒石ICから約30分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数) 弘前・黒石地区 73施設</li> <li>・ 免税店 11施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> <li>・ その他 訪日外国人旅行者の受入環境整備事業(観光庁)の地方拠点都市として選定され受入環境整備。</li> </ul>
--------------	---

主な観光資源	説明
弘前公園	弘前公園には東北で唯一の江戸時代から残る天守(石垣工事のため移設予定)があり、桜の名所として多くの人々が訪れる。 ○ 入込数 弘前城史料館 337,867人、弘前さくらまつり 2,270,000人 弘前菊と紅葉まつり 394,000人、弘前城雪燈籠まつり 320,000人
弘前市立観光館	弘前の夏の風物詩『ねぶたまつり』の山車や伝統工芸品の展示をはじめ、観光案内や自転車レンタルなど観光の拠点 ○ 入込数 535,197人
弘前市りんご公園	約65種、1,300本の林檎の木がある公園。もぎとり体験(8~11月)ほか、岩木山や八甲田連邦を眺望できる。 ○ 入込数 144,158人
弘前ねぶたまつり	○ 入込数 1,630,000人
伝統工芸品	津軽塗、こぎん刺し、津軽打刃、津軽尻
食文化	りんご、じゃっば汁、貝焼き味噌、けの汁、アップルパイ、日本酒

※ 入込数は平成25年青森県観光統計より

○ 広域観光拠点地区②「八甲田・十和田・奥入瀬」（青森県青森市・十和田市、秋田県小坂町）

広域観光拠点地区②の説明	<p>○ コンセプトとの関係 十和田湖、奥入瀬溪流、八甲田山は、十和田八幡平国立公園を代表する景勝地。四季を通じて様々な自然景観を楽しむことができ、特に新緑と紅葉は素晴らしい。明治の文人、大町桂月は、「住まば日の本 遊ばば十和田歩けや奥入瀬三里半」と讃えた。長い年月をかけて養殖に成功したヒメマスが食の名物。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 青森県南部から秋田県北東部、十和田八幡平国立公園内</li> <li>・ アクセス 青森駅及び八戸駅から JR バス東北の路線バス（路線名 青森・八戸ー奥入瀬溪流・十和田湖線） 東北自動車道十和田 IC から約 60 分</li> <li>・ 宿泊施設（楽天トラベル登録） 八甲田・奥入瀬・十和田周辺 38 施設</li> <li>・ 免税店 2 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
--------------	---

主な観光資源	説明
八甲田山	<p>ロープウェイや登山道、自然散策路などが整備され豊かな自然を体験することができ、高山植物や樹氷も見ることができる。冬期のスキー場は雪質が良く、最近ではオーストラリア人に人気。</p> <p>○ 入込数 八甲田ロープウェイ274,091人、モヤヒルズ（グリーン・スキー）123,491人</p>
十和田湖	<p>火山の爆発によってできたカルデラ湖。遊覧船や散策路、ビジターセンターで雄大な自然とふれあうことができる。新緑や紅葉の時期は特に素晴らしい。</p> <p>○ 入込数 奥入瀬・十和田 966,937人、十和田市現代美術館 140,650人、 十和田湖遊覧船 146,491人、十和田湖冬物語（2月）200,200人 十和田湖湖水まつり（7月）48,134人</p>
奥入瀬溪流	<p>十和田湖から流れる美しい清流が様々な表情を見せる。川沿いには散策路が整備され、自然林に囲まれた溪流散策が楽しめる。新緑や紅葉の時期は特に素晴らしい。</p> <p>○ 石ヶ戸休憩所 入込数 309,608人</p>
酸ヶ湯温泉	青森ヒバの大浴槽がある「ヒバ千人風呂」は迫力あり。
葛温泉	大町桂月が本籍を移し、晩年を過ごした歴史ある温泉。12世紀から文献に登場する。
食文化	ヒメマス料理、山菜料理

※ 入込数は平成 25 年青森県観光統計より

○ 広域観光拠点地区③「角館・田沢湖」(秋田県仙北市)

広域観光拠点地区②の説明	<p>○ コンセプトとの関係 「みちのくの小京都」と呼ばれ、武家屋敷が軒を連ねる角館ではしだれ桜の大樹に囲まれた歴史ある町並みを楽しめ、日本一 deep な水深を誇り、辰子姫の伝説が残る田沢湖では美しい自然をゆっくり楽しめる。市内には 30 軒近い農家民宿もあり、近郊の乳頭温泉郷は古の湯治場の風情を残す秘湯。マタギ料理から生まれたとされるきりたんぼ鍋や稲庭うどん、比内地鶏などが名物。角館には料亭もあり、城下町の食文化を今に伝える。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 秋田県西部</li> <li>・ アクセス 東北新幹線盛岡駅及び秋田駅から約 50 分 東北自動車道盛岡 IC から約 80 分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数) 田沢湖・角館・大曲地区 91 施設</li> <li>・ 免税店 3 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> <li>・ その他 訪日外国人旅行者の受入環境整備事業(観光庁)の地方拠点都市として選定され受入環境整備。</li> </ul>
--------------	---

主な観光資源	説明
田沢湖	「日本で最も深い湖」として知られ、遊覧船やレンタサイクルで楽しめる。永遠の若さと美しさを求めて百日詣でをした辰子姫が結願の日に龍神に姿を変えたとの伝説が残り、湖上には金色の「たつこ像」がある。韓国ドラマ「アイリス」のロケ地としても知られる。 ○ 入込数 田沢湖 248,735 人、田沢湖遊覧船 19,597 人、たざわ湖スキー場 101,892 人
角館の町並み	重要伝統的建造物群保存地区に指定された歴史ある武家屋敷としだれ桜並木が美しく、「みちのくの小京都」と呼ばれる。町を流れる桧木内川の桜並木も素晴らしい。 ○ 入込数 角館武家屋敷 511,856 人、角館桜まつり 1,417,000 人
乳頭温泉	鶴の湯、妙の湯、黒湯、蟹場などの個性的な温泉が点在。いずれも周囲を深い山々に囲まれた乳白色の秘湯。 ○ 高原・水沢地区 入込数 303,530 人
秋田内陸縦貫鉄道	角館と鷹巣を結ぶ全長 94.2 km の鉄道。数駅乗車するだけで、奥深い山里の雰囲気を楽しめる。土日祝日にはアテンダントも乗車するほか、様々なイベント列車あり。
食文化	きりたんぼ鍋、稲庭うどん、比内地鶏料理、だまこ鍋、山菜料理、いぶりがっこ、日本酒

※ 入込数は平成 25 年秋田県観光統計より

○ 広域観光拠点地区④「平泉」(岩手県平泉町)

広域観光拠点地区③の説明	<p>○ コンセプトとの関係 平泉には、浄土思想の考えに基づいて造られた多様な寺院・庭園及び遺跡が一群として残っており、奥州藤原氏の栄華と歴史を語る貴重な資産として世界遺産に指定されている。芭蕉はこの地で「五月雨の 降り残してや 光堂」、「夏草や 兵どもが 夢の跡」の句を詠んだ。平泉一関はもち料理やひつつみ汁が名物。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位 置 岩手県南西部に位置</li> <li>・ アクセス 東北新幹線仙台駅から一関駅経由から約 40 分 平泉前沢 IC から約 25 分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数) 奥州・平泉・一関地区 67 施設</li> <li>・ 免税店 1 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> <li>・ その他 訪日外国人旅行者の受入環境整備事業(観光庁)の地方拠点都市として選定され受入環境整備</li> </ul>
--------------	--

主な観光資源	説明
中尊寺	850 年に慈覚大師円仁が創建したと伝えられる。11 世紀末に奥州藤原氏が大寺院を造営。14 世紀の火災で多くの建物が焼失したが、今も金色堂はじめ多くの国宝、重要文化財が残る。
毛越寺	中尊寺と同じく慈覚大師円仁が開山したと伝えられる。奥州藤原氏が大伽藍を形成し、最盛期には中尊寺をしのぐ規模を誇ったとされる。火災により建物はすべて焼失したが、平安様式の美しい浄土庭園が残る。
観自在王院跡	藤原基衡の妻が建立したと伝えられる寺院跡。浄土庭園の遺構はほぼ完全な形で保存されている。
無量光院跡	藤原秀衡が宇治の平等院の鳳凰堂を模して建立した寺院跡。
金鷄山	中尊寺と毛越寺の間に位置し、平泉を守るために雌雄一対の黄金の鷄をうめたという伝説が残っている。
観光客入込数	平泉町 2,097,696 人 平成 25 年度版 岩手県観光統計概要より
食文化	もち料理、はっと汁、そば、前沢牛、日本酒

○ 広域観光拠点地区⑤「仙台・松島」(宮城県仙台市・松島町)

<p>広域観光拠点地区⑤の説明</p>	<p>○ コンセプトとの関係                  仙台は東北の中核都市。「杜の都」として知られ、市内を流れる広瀬川には鮭が遡上する。伊達政宗が築いた城下町の風情と都市観光に加え、七夕祭りなどの伝統文化が楽しめる。世界三大漁場の一つ三陸沖で獲れる魚介と地元ササニシキを使った寿司や牛タン、笹かまぼこ、ずんだ餅、仙台発祥の冷やし中華などが名物。                  松島は日本三景の一つであり、西行法師や芭蕉が憧れ訪れた場所。奥の細道には「松島の月先ず心にかかりて」との記述がある。松島湾の島々とともに、桜、紅葉、雪景色など四季折々の美しい風景を楽しめ、四大観と呼ばれる4つの展望台からの松島湾の眺望も美しい。遊覧船で島巡りを楽しめるほか、伊達家が再興した神社などが数多く残る。松島湾は牡蠣や海苔の養殖も盛んで、地元の牡蠣料理が名物。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 宮城県中心部に位置</li> <li>・ アクセス                      東北新幹線東京駅から仙台駅まで 90 分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数)                      仙台市内 152 施設、秋保・作並地区 36 施設、                      松島・塩釜・石巻地区 61 施設</li> <li>・ 免税店 123 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> <li>・ その他                      訪日外国人旅行者の受入環境整備事業(観光庁)の地方拠点都市として選定され受入環境整備。</li> </ul>
---------------------	---

主な観光資源	説明
<p>仙台の街歩き</p>	<p>「杜の都」仙台は仙台藩初代藩主伊達政宗が開いた城下町。歴史文化を感じながら都市観光も楽しめる。七夕まつりや青葉まつり、日本有数のジャズフェスティバル、定禅寺通りのケヤキ並木を飾る光のページェントなど数多くの伝統芸能やイベントがある。</p> <p>○ 入込数                  仙台城址・瑞鳳殿・仙台市博物館等 830,789 人、秋保温泉 1,189,481 人、作並温泉 332,579 人、定義如来 878,475 人、                  仙台・青葉まつり(6月) 960,000 人、仙台七夕まつり(8月) 2,063,000 人、定禅寺ストリートジャズフェスティバル(9月) 680,000 人、                  みちのく YOSAKOI まつり(10月) 790,000 人、SENDAI 光のページェント(12月) 2,820,000 人</p>
<p>松島</p>	<p>日本三景として知られ、奥の細道にも登場する「日本三景」松島は、風光明媚な松島湾の多島美に恵まれ、伊達文化が色濃く残る地域。</p> <p>○ 入込数                  松島海岸 2,981,193 人、松島島巡り遊覧船 529,656 人                  塩釜・松島遊覧船 105,510 人</p>

瑞巖寺	松島にある古刹。慈覚大師円仁が創建したと伝えられ、伊達政宗が再興。桃山式建築の本堂、庫裏は国宝。
円通院	松島にある伊達家の菩提寺の一つ。特に紅葉が有名。
五大堂	松島海岸に浮かぶ五大堂は松島のシンボルであり重要文化財。坂上田村麻呂が建立し、慈覚大師円仁が五人明王像を安置したことから五大堂と名付けられた。現在の建物は伊達政宗が再建した桃山建築。
食文化	すし、牛タン、笹かまぼこ、ずんだ餅、冷やし中華、仙台牛、カキ、日本酒

※ 入込数は平成 25 年宮城県観光統計概要より

○ 広域観光拠点地区⑥「蔵王・山寺」（山形県山形市・上市市、宮城県白石市・蔵王町）

<p>広域観光拠点地区⑥の説明</p>	<p>○ コンセプトとの関係                  山形県と宮城県にまたがる蔵王連峰は、シンボルである火口湖「御釜」と冬の樹氷をはじめ、蔵王エコーラインの「雪の回廊」、新緑や紅葉、国内屈指の規模のスキー場や数多くの温泉など、四季折々に豊かな自然を楽しめる。                  山寺は芭蕉が「閑さや 岩にしみ入 蟬の声」の句を詠んだ古刹。1000段もの石段を登った五大堂からの眺めは絶景で、四季折々の美しさを見せる。芭蕉は山寺について「佳景寂寞としてこころすみゆくのみ覚ゆ」との感想を記述している。そばと玉こんにゃくが名物。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 宮城県南西部、山形県南東部に位置する蔵王連峰周辺</li> <li>・ アクセス 東北新幹線仙台駅から車で80分（お釜まで） 山形新幹線山形駅から車で70分（お釜まで）</li> <li>・ 宿泊施設（楽天トラベル登録数） 白石・宮城蔵王地区 67 施設、山形市・蔵王・かみのやま地区 151 施設</li> <li>・ 免税店 9 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
---------------------	---

主な観光資源	説明
蔵王	<p>自然豊かな蔵王は、スキー場、ロープウェー、温泉、高原トレッキング等様々な楽しみ方ができる。                  「御釜」と呼ばれるエメラルドグリーン火口湖と冬の樹氷は蔵王の象徴。蔵王エコーラインは絶景ドライブコースで、4月下旬には「雪の回廊」を見ることが出来る。</p> <p>○ 入込数                  刈田岳山頂（宮城）442,908人、蔵王温泉スキー場（山形）399,800人                  蔵王ハイライン（宮城）通行台数 107,417 台、蔵王連峰（山形）207,600人</p>
温泉	<p>蔵王温泉は強酸性の硫黄泉で美肌の湯として親しまれている開湯 1900 年の名湯。遠刈田温泉は、2014 年度の「にっぽんの温泉 100 選」に選ばれている。</p> <p>○ 入込数                  遠刈田温泉（宮城）795,545人、蔵王温泉（山形）1,059,700人</p>
山寺	<p>慈覚大師円仁が開山し、約 1200 年の歴史を持つ古刹。慈覚大師はこの地に没したとされる。根本中堂には比叡山延暦寺から分灯された不滅の法灯が今も燃えつつけている。</p> <p>○ 山寺 観光者数 995,300人</p>
食文化	そば、玉こんにゃく、さくらんぼ狩り、ぶどう狩り、日本酒

※ 入込数は平成 25 年宮城県観光統計概要より

※ 観光者数は平成 25 年度山形県観光者数調査より



○ 広域観光拠点地区⑦「会津・喜多方・磐梯・大内宿」  
 (福島県会津若松市・喜多方市・下郷町・猪苗代町ほか)

広域観光拠点地区⑦の説明	<p>○ コンセプトとの関係                  会津藩の城下町、会津若松では、再建された鶴ヶ城やレトロな七日町の町並み、白虎隊の史蹟などのほか、絵ろうそくなどの体験ができる。を宿場町、自然景観、などの観光資源を有し、四季折々楽しめる。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 福島県西部</li> <li>・ アクセス                      東北新幹線郡山駅から会津若松駅まで約 65 分                      磐越自動車道会津若松 IC から約 12 分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数)                      会津若松・喜多方地区 93 施設、猪苗代・表磐梯地区 89 施設                      磐梯高原・裏磐梯地区 91 施設、郡山・磐梯熱海地区 65 施設</li> <li>・ 免税店 4 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> <li>・ その他                      会津若松は、訪日外国人旅行者の受入環境整備事業(観光庁)の地方拠点都市として選定され受入環境整備。</li> </ul>
--------------	--

主な観光資源	説明
会津若松	<p>会津藩の城下町として栄え、その歴史文化を感じることができる。30 分間隔で運行される周遊バスやレンタサイクルで楽しめる。弓道体験や赤べこ絵づけなどの体験スポットも多数あり。</p> <p>○ 入込数                      若松市街 1,038,424 人、鶴ヶ城天守閣 945,298 人、隣閣 516,552 人、伊佐須美神社 1,457,500 人、東山温泉 566,409 人、芦ノ牧温泉 288,457 人                      会津秋祭り(9月) 187,000 人</p>
大内宿	<p>1640 年頃に整備された宿場町。茅葺きの本陣や旅籠が軒を連ね、今も当時の姿が保存されている。国選定重要伝統的建造物群保存地区。</p> <p>○ 入込数 大内宿 953,420 人、塔のへつり 450,510 人</p>
喜多方	<p>蔵とラーメンの街として知られ、喜多方田舎体験(グリーン・ツーリズム)での体験プログラムも充実しており、農家民宿も盛ん。最近では古代の漢字を学ぶミステリーウォークも人気。</p> <p>○ 喜多方市街 入込数 1,206,586 人</p>

磐梯・猪苗代湖	<p>豊かな自然が四季折々の表情を見せる。  猪苗代湖では遊覧船やサイクリング、湖水浴や水上スポーツ、フィッシングなどが楽しめる。裏磐梯では五色沼をはじめとして、美しい湖沼を巡るトレッキングコースなどが充実。磐梯吾妻スカイライン、磐梯吾妻レークライン、磐梯山ゴールドラインは絶景ドライブコース。</p> <p>○ 入込数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 磐梯高原 2,157,506人、グランデコスキーリゾート 156,560人</li> <li>・ アルツ磐梯スキー場 149,261人、世界のガラス館 入込数 217,300人</li> <li>・ 猪苗代湖長浜 256,187人、猪苗代スキー場 171,358人</li> <li>・ スカイライン 904,051人</li> </ul>
食文化	こづゆ、そば、わっぱ飯、大内宿のねぎ蕎麦、喜多方ラーメン、日本酒

※ 入込数は福島県観光客入込状況平成25年分より

○ 広域観光拠点地区⑧「酒田・鶴岡・出羽三山」（山形県酒田市・鶴岡市）

広域観光拠点地区⑧の説明	<p>○ コンセプトとの関係</p> <p>出羽三山（羽黒山、湯殿山、月山）は、6世紀の開山から千四百年もの歴史を受け継ぐ山岳信仰の聖地であり、全国から山伏が集う修験の山として有名。芭蕉もこの地を訪れ、三山を参拝して「涼しさや ほの三日月の 羽黒山」などの句を詠んだ。隨身門から羽黒山頂に至る2400段もの石段が続く杉並木はミシュラングリーンガイドの三つ星を取得。出羽三山の山麓には国内の半数近い即身仏（ミイラ）が安置されている。羽黒山の山頂、山麓には30以上の宿坊があり、精進料理を今に伝える。</p> <p>酒田・鶴岡に広がる庄内地方は、海と山と川の豊かな自然に恵まれ、藤沢周平作品の舞台ともなっている。鶴岡市は、日本初のユネスコ創造都市ネットワーク食文化部門に認定されており、地元食材を使った地産地消のレストランが数多い。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 山形県北西部に位置する。</li> <li>・ アクセス 山形新幹線山形駅及び上越新幹線新潟駅から約110分（鶴岡） 山形自動車道鶴岡IC（鶴岡）</li> <li>・ 宿泊施設（楽天トラベル登録数） 酒田・鶴岡・湯野浜・温海地区 104施設</li> <li>・ 免税店 2施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
--------------	---

主な観光資源	説明
酒田	北前船の往来で賑わった港町。豪商の屋敷や明治期の広大な米倉庫があり、かつての料亭を改修した相馬楼では酒田舞娘の踊りと食事が楽しめる。日本海に沈む夕日を楽しむクルージングや、鳥海山トレッキングで自然を満喫できる。
鶴岡	鶴岡観光ぐるっとバスで、東北に唯一現存する藩校建築物庄内藩校 致道館やクラゲで有名な加茂水族館などを巡ることができる。庄内映画村や日本海の夕日が美しい湯野浜温泉もある。山岳信仰の象徴である即身仏（ミイラ）が3つのお寺で拝観できる。
出羽三山	月山、羽黒山、湯殿山の三つの山の総称で、山岳信仰・修験の霊場。羽黒山の五重塔は国宝に指定されている。参籠所では精進料理を食べられるほか宿泊することもできる。現在も30件以上の宿坊が残る。
食文化	精進料理、地元食材のイタリア料理、農家レストラン、酒田ラーメン、庄内野菜、岩ガキ、庄内米、だだちゃ豆、日本酒
観光者数	山岳観光地（月山、鳥海山）443,300人、温泉観光地（由良、湯川、湯野浜、湯の瀬 他）2,684,200人、名所・旧跡観光（善宝寺、金峯山、南岳寺、致道館、旧風間家住宅丙申堂、羽黒山 他）1,572,300人 ※ 観光者数は平成25年度山形県観光者数調査より

○ 広域観光拠点地区⑨「白神山地」(青森県西目屋村、秋田県藤里町)

<p>広域観光拠点地区⑨の説明</p>	<p>○ コンセプトとの関係          白神山地は世界遺産のなかでも「自然遺産」に分類され、白神の森全体の広さは沖縄本島よりも面積があり、手つかずの自然を体感できる世界遺産の森である。また、人の影響を受けていない原生的なブナ林が大規模に残っている最後の地域としてとても貴重である。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 青森県の南西部から秋田県北西部</li> <li>・ アクセス              JR弘前駅から車で約35分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数)              西津軽地区 21 施設</li> <li>・ 免税店 無し</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
---------------------	--

主な観光資源	説明
<p>白神山地</p>	<p>原生的なブナ林が美しい世界遺産。特に新緑と紅葉の季節が素晴らしい。ブナ林に点在する湖沼を巡るコースや滝をめざすコースなどが整備されており、トレッキングや散策を楽しむことができる。          ビジターセンターでは、ブナと生態系との関わりを学ぶ事ができ、映像で白神山地の四季を見ることができる。</p> <p>○ 白神山地関連 入込数 649,377人          (暗門の滝遊歩道、ブナ林散策道、くろくまの滝、ミニ白神、十二湖公園、白神山地ビジターセンター 他)</p>

※ 入込数は平成25年青森県観光統計より

○ 広域観光拠点地区⑩「八幡平」(岩手県八幡平市、秋田県鹿角市)

<p>広域観光拠点地区⑩の説明</p>	<p>○ コンセプトとの関係 火山帯独特の自然景観が広がり、国立公園や天然記念物に指定されている貴重な自然環境がある。 山々の自然が豊かで、初級者でも楽しむことができる八幡平、安比高原や七時雨山から上級者も楽しめる岩手山まで多様なフィールドがあり、四季折々の風景が楽しめる。また、八幡平一帯は数多くの温泉に恵まれている。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 岩手県、秋田県に位置し、十和田八幡平国立公園内</li> <li>・ アクセス JR 盛岡駅から JR 安比高原駅 70 分 JR 盛岡駅から八幡平山頂 バス 110 分 松尾八幡平 IC から八幡平アスピーテラインまで約 50 分 鹿角八幡平 IC から八幡平アスピーテラインまで約 90 分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数) 安比高原・八幡平・二戸地区 91 施設、大館・鹿角・八幡平地区 45 施設</li> <li>・ 免税店 7 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
---------------------	--

主な観光資源	説明
八幡平	<p>十和田八幡平国立公園。 湿原や沼、高原、様々な自然をトレッキングなどで体感できる。八幡平アスピーテラインは絶景ドライブコースで、4月下旬には「雪の回廊」を見ることができる。秋の紅葉も絶景。</p> <p>○ 入込数 八幡平市(岩手) 1,981,497人、八幡平国立公園(秋田) 658,848人 秋田八幡平スキー場(秋田) 105,648人</p>
温泉	<p>玉川温泉、五所掛温泉、藤七温泉、松川温泉、御在所温泉、八幡平温泉など、数々の温泉地に恵まれている。</p> <p>○ 八幡平温泉郷(秋田) 入込数 108,961人</p>
スキー	<p>安比高原、秋田八幡平</p> <p>○ 秋田八幡平スキー場(秋田) 入込数 105,648人</p>

※ 入込数は平成 25 年秋田県観光統計及び平成 25 年度版岩手県観光統計概要より

○ 広域観光拠点地区①「男鹿」(秋田県男鹿市)

<p>広域観光拠点地区①の説明</p>	<p>○ コンセプトとの関係          男鹿半島は三方を海に囲まれ、特徴ある自然景観があり、「男鹿のナマハゲ」は国重要無形民俗文化財に指定されている。          男鹿の石焼き料理は、漁師の暮らしの中から生まれた、磯の香り漂う豪快な郷土料理として有名である。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位 置 秋田県西部の日本海に突き出た半島</li> <li>・ アクセス            秋田新幹線秋田駅から羽立駅まで約 60 分            秋田自動車道昭和男鹿半島 IC</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数)            能代・男鹿・白神地区 42 施設</li> <li>・ 免税店 無し</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
---------------------	--

主な観光資源	説明
<p>半島の景観</p>	<p>入道崎や寒風山をはじめとした陸地と海が織りなす絶景ポイント多数。男鹿水族館 GAO ではホッキョクグマが人気。</p> <p>○ 男鹿水族館 GAO 入込数 312,650 人</p>
<p>なまはげ</p>	<p>全国的に知られる男鹿のなまはげは、悪事を訓戒し、厄災を祓い、吉事をもたらす神々の使者とされる。男鹿真山伝承館でなまはげ体験ができる。</p> <p>なまはげ館では、映画で紹介するなまはげ行事をみることができ、なまはげ面や衣装を身に着ける「変身コーナー」もある。</p> <p>○ なまはげ館 入込数 122,278 人</p>
<p>食文化</p>	<p>石焼き料理、ハタハタ料理、ぎばさ、日本酒</p>

※ 入込数は、平成 25 年秋田県観光統計より

○ 広域観光拠点地区⑫「由利・鳥海」(秋田県由利本庄市・にかほ市)

<p>広域観光拠点地区⑫の説明</p>	<p>○ コンセプトとの関係 日本海に影をおとす秀峰鳥海山は、古くから出羽富士と呼ばれ、人々の信仰の対象として崇められ、四季折々の景色が楽しめる。 鳥海国定公園を中心とした鳥海高原は、プナの森や湧き出る清水、竜ヶ原湿原、日本の滝百選の名瀑「法体の滝」の勇姿など、大自然一杯である</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 秋田県沿岸南部に位置</li> <li>・ アクセス 新潟駅から羽後本庄駅まで約 210 分 秋田駅から羽後本庄駅まで約 45 分 秋田市から 40km 酒田市から 63km</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数) 由利本庄・鳥海山地区 16 施設</li> <li>・ 免税店 1 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
---------------------	--

主な観光資源	説明
<p>由利・鳥海</p>	<p>由利地方は、自然や歴史を語り継ぐ数々の観光スポットがあり、鳥海国定公園を中心として、大自然があおりなすパノラマや温泉、季節に応じたアウトドアレジャー、歴史探訪などいたるところに「旅の魅力」があふれている。 芭蕉の「奥の細道」最北の地が象潟(にかほ市)であり、九十九島(つくもじま)と呼ばれた当時の象潟の景観を絶賛している。</p> <p>※ 象潟は「東の松島、西の象潟」と呼ばれたように、かつては松島同様無数の小島が浮かぶ入り江だったが、文化元年の大地震で干潟に変わった。</p> <p>○ 入込数 鳥海国定公園(由利本庄) 119,000 人、鳥海山・鉾立(にかほ) 245,200 人 ねむの丘 118,630 人</p>

※ 入込数は、平成 25 年秋田県観光統計より

○ 広域観光拠点地⑬「釜石・遠野」(岩手県遠野市・釜石市)

広域観光拠点地区⑬の説明	<p>○ コンセプトとの関係 釜石は鉄とラグビーの町として知られるが、海と山に囲まれた風光明媚な場所でもある。橋野鉄鉱山・高炉跡は「明治の産業革命遺産」の一つとして世界遺産登録される予定。 遠野は柳田国男の「遠野物語」で知られる民話のふるさと。牧歌的な山里には日本の原風景が感じられ、カッパや座敷童などの数々の伝説や伝承が語り継がれている。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置 釜石 岩手県の南東部、三陸復興国立公園内 遠野 岩手県内陸に位置</li> <li>・ アクセス 釜石 新花巻駅から釜石駅まで約 90 分 釜石自動車道宮守 IC から約 80 分 遠野 新花巻駅から遠野駅まで約 60 分 釜石自動車道宮守 IC から約 20 分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数) 陸中海岸南部地区 22 施設、北上・花巻・遠野地区 110 施設</li> <li>・ 免税店 1 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
--------------	--

主な観光資源	説明
釜石	<p>釜石の、橋野鉄鉱山・高炉跡が世界遺産勧告された。また、ラグビーの街とも呼ばれ、2019 年に日本で行われるラグビーワールドカップの開催都市となっている。</p> <p>○ 釜石市 入込数 325,795 人</p>
遠野	<p>伝承園や遠野ふるさと村、南部曲がり家、カッパが住んでいたといわれている「カッパ淵」などで民話の世界を味わうことができる。</p> <p>ふるさと村では、遠野郷に伝わる文化や伝統を守る地元のじっちゃん・ばっちゃんが「まぶりっと衆」としてお客様をおもてなししている。</p> <p>○ 遠野市 入込数 1,661,858 人</p>

※ 入込数は平成 25 年度版岩手県観光統計概要より



○ 広域観光拠点⑭「気仙沼」(宮城県気仙沼市)

<p>広域観光拠点 地区⑭の説明</p>	<p>○ コンセプトとの関係 気仙沼は、三陸復興公園の南端に位置する。複雑な海岸線が特徴のリアス式海岸に良港を擁し、サンマ、カツオ、カツオ、メカジキ、フカヒレ等の水揚げが多い日本有数の漁港。東日本大震災により甚大な被害を受けたが、漁業と観光を組み合わせ、力強い復興を進めつつある。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位 置 宮城県北東太平洋沿岸に位置</li> <li>・ アクセス 一ノ関駅から気仙沼駅まで約 75 分 三陸自動車道登米 IC から約 60 分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数) 南三陸・気仙沼地区 26 施設</li> <li>・ 免税店 1 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
--------------------------	---

主な観光資源	説明
巨釜半蔵「折石」、リアスアーク美術館	<p>大津波に耐えた「折石」、リアスアーク美術館では東日本大震災の被災物や写真パネルを展示。</p> <p>○ 気仙沼・唐桑半島 入込数 864,800 人</p>
気仙沼大島	<p>山頂にある亀山神社、鳴き砂浜など名所が多い。</p> <p>○ 気仙沼大島 入込数 111,400 人</p>
体験	<p>マグロ漁船への乗船体験、朝市での朝食体験、漁船団の出港式、日本酒の海中貯蔵体験など様々な取り組みを試行中。</p>
食文化	<p>サメ料理、フカヒレ料理やホヤ、サンマ、カツオ、メカジキなどの三陸の海の幸</p>

※ 入込数は平成 25 年宮城県観光統計概要より

○ 広域観光拠点⑮「鳴子」(宮城県大崎市)

広域観光拠点 地区⑮の説明	<p>○ コンセプトとの関係 歴史ある湯治場として有名な鳴子温泉郷には、素晴らしい泉質の温泉とともに、四季折々楽しめる豊かな自然があふれている。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位 置 宮城県北西部</li> <li>・ アクセス 古川駅から鳴子温泉駅まで約 40 分 新庄駅から鳴子温泉駅まで約 60 分 古川 IC から約 40 分</li> <li>・ 宿泊施設 (楽天トラベル登録数) 鳴子・古川・くりこま高原地区 85 施設</li> <li>・ 免税店 1 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
------------------	--

主な観光資源	説明
鳴子温泉郷	<p>鳴子、東鳴子、川渡、中山平、鬼首の 5 つの温泉地からなる温泉郷。その歴史は 9 世紀にまで遡る。</p> <p>源泉の数は約 400 本。日本にある 11 の泉質のうち 9 種類が鳴子温泉郷にある。湯巡りチケットではしご湯を楽しむことができる。</p> <p>こけしの産地としても有名で、毎年全国大会が開催される。</p> <p>○ 鳴子温泉郷 入込数 2,018,500 人</p>
鳴子峡	<p>鳴子峡は深さ約 100 メートルの峡谷。特に紅葉時期は全山が色づき絶景となる。</p>
鬼首間欠泉	<p>約 20 分ごとに 15m の高さまで熱湯を噴き上げる間欠泉がある。</p>
スキー	<p>鳴子上野々スキー場、オニコウベスキー場</p>
食文化	<p>栗だんご、温泉卵</p>

※ 入込数は平成 25 年宮城県観光統計概要より

○ 広域観光拠点⑩「村上」(新潟県村上市)

広域観光拠点 地区⑩の説明	<p>○ コンセプトとの関係 村上藩の城下町。数多くの町屋が健在で、風情ある町並みを形成している。三面川の鮭と村上牛が名物。雄大な自然と歴史文化が息づく。</p> <p>○ 地理的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新潟県北部、下越地区</li> <li>・ アクセス 新潟駅から村上駅まで約 60 分 日本海東北自動車道神林岩船港 IC</li> <li>・ 宿泊施設 新発田・村上・咲花地区 100 施設 (楽天トラベル登録数)</li> <li>・ 免税店 1 施設</li> <li>・ 隣接する広域観光促進地域との関係 促進地域内</li> </ul>
------------------	---

主な観光資源	説明
村上市街	越後最北の城下町であり、伝統的な町屋が住宅や商店として点在。風情のある町屋通りの散策が楽しめる。 ○ 町屋の人形さま巡り (3 月) 入込数 130,000 人
イヨボヤ会館	日本最初の鮭の博物館で、鮭漁の歴史や鮭の生態を知ることができる。 ○ 入込数 52,860 人
笹川流れ	笹川流れは名勝天然記念物の潮流。透明度の高いエメラルドグリーンの海を奇岩とともに楽しめる。海水浴もでき、遊覧船もある。 ○ 遊覧船 入込数 56,930 人
瀬波温泉	日本海に沈む夕日の美しさで知られる温泉地。 ○ 入込数 426,760 人
食文化	鮭料理、日本酒

※ 入込数は平成 25 年新潟県観光統計より

(2) 主要広域観光ルート

<p>主要広域観光ルートの説明</p>	<p>1 広域観光拠点地区（ルートで繋ぐ）</p> <p>(1) 名称</p> <p>① 弘前</p> <p>② 八甲田・十和田湖・奥入瀬</p> <p>③ 角館・田沢湖</p> <p>④ 平泉</p> <p>⑤ 仙台・松島</p> <p>⑥ 蔵王・山寺</p> <p>⑦ 会津・喜多方・磐梯・大内宿</p> <p>⑧ 酒田・鶴岡・出羽三山</p> <p>(2) 想定する交通手段</p> <p>JRを主とし、路線バス及びタクシーを活用</p> <p>(3) 想定する滞在日数</p> <p>「JR EAST PASS」の活用を前提に、5泊6日を想定</p> <p>2 広域観光拠点地区（周辺地区）</p> <p>ルートでつなぐ拠点に加え、滞在中に行くことが出来る魅力ある場所を周辺拠点として設定。周遊を促す。</p> <p>(1) 名称</p> <p>⑨ 白神山地</p> <p>⑩ 八幡平</p> <p>⑪ 男鹿</p> <p>⑫ 由利・鳥海</p> <p>⑬ 釜石・遠野</p> <p>⑭ 気仙沼</p> <p>⑮ 鳴子</p> <p>⑯ 村上</p> <p>(2) 想定する交通手段</p> <p>JR、路線バス、タクシー、レンタカーを想定</p>
---------------------	--

(3) 広域観光促進地域

<p>広域観光促進地域の説明</p>	<p>東北ならではの独自の観光資源を生かし、多様性ある魅力的な東北ブランドの確立を図るため、オール東北で取組みを進めるため、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県を促進地域とする。</p>
--------------------	--

(4) 主要ゲートウェイ施設

<p>主要ゲートウェイ施設の説明</p>	<p>羽田空港、成田空港、東京駅 函館空港、函館駅、仙台空港、仙台駅 等</p>
----------------------	--

(5) 実施事業体制

<p>申請者</p>	<p>東北観光推進機構 会長 高橋 宏 明</p>
------------	-------------------------------

事務局	東北観光推進機構 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央 2-9-10 (セントレ東北 10F) TEL : 022-721-1291 FAX : 022-721-1293
構成員	調整中 各拠点の関係者

#### 4 目標設定・成果把握

- (1) 広域観光拠点地区における訪日外国人旅行者の来訪及び滞在に関する現状及び課題  
震災の影響により他地域に比べ訪日旅行者の回復が遅れている。  
東北に認知度が低い
- (2) 目標の設定  
東北運輸局「東北観光基本計画」と同一の目標を設定  
○ 東北6県の観光関係統計数値において震災前の実績値を上回ることを目指す。  
○ 計画期間は、平成25年度から5年間、目標年次を平成29年度とする。
- (3) 成果把握の方法  
発表される観光関係統計数値

#### 5 計画期間

平成27年度から平成31年度の5年間

## II 広域観光周遊ルート形成促進事業の概要

### 1 広域で取り組むもの

#### (1) 事業計画策定・マーケティング

事業概要	実施主体	実施時期
東北観光推進機構中期実施計画及び東北ブランド戦略会議の議論を踏まえ、海外の市場動向等を把握し、事業計画を策定する	東北観光推進機構	平成 27・28 年度

#### (2) 受入環境整備・交通アクセス

事業概要	実施主体	実施時期
外国人に現場調査による、必要整備洗い出し（ルート）	東北観光推進機構	平成 27・28 年度
バリアフリー状況調査		平成 28 年度

#### (3) 滞在コンテンツの充実

事業概要	実施主体	実施時期
既存滞在コンテンツの集約	東北観光推進機構	平成 27 年度
外国人による実証による磨き上げ		平成 28・29 年度

#### (4) 対象市場に向けた情報発信

事業概要	実施主体	実施時期
既存コンテンツの集約	東北観光推進機構	平成 27 年度
情報発信及びプロモーションの見直しと再構築		平成 27 年度
ネットテレビによる映像配信		平成 27 年度から
ホームページ修正等		平成 28 年度から
各種広報物作成		平成 29 年度から

#### (5) その他、本事業の目的を達成するために必要な事業

事業概要	実施主体	実施時期
旅行商品実証実験	東北観光推進機構	平成 27 年度から
旅行商品造成支援		平成 27 年度から

2 広域観光拠点地区又は主要ゲートウェイ施設で取り組む事業（主なもの）

(1) 広域観光拠点地区

事業概要	実施主体	実施時期
外国人に現場調査による、必要整備洗い出し（ルート）	東北観光推進機構	平成 27 年度
調査に基づく受入環境整備	各所管	平成 27 年度から

(2) 主要ゲートウェイ施設（施設名 仙台空港・仙台駅）

事業概要	実施主体	実施時期
案内サイン等の充実	各所管	平成 27 年度から

III 参考

1 広域観光周遊ルート形成促進事業と連携して実施する事業

事業概要	実施主体	実施時期
海外情報拠点の整備（上海、ASEAN）	東北観光推進機構	通年 ASEAN は 7 月から
インセンティブツアー誘致促進（招請、セールス）		随時
旅行博出展（台湾、中国、香港タイ、オーストラリア、マレーシア、シンガポール）		随時
SNS 情報発信（韓国、ベジハラ、中国、英語）		随時

2 広域観光促進地域における主なツアー例

JNTO 市場別マーケティング情報のとおり

[http://www.into.go.jp/jpn/member\\_logins/members\\_service/market.html](http://www.into.go.jp/jpn/member_logins/members_service/market.html)

3 その他参考となる資料

- 対象市場の観光ニーズに関するバックデータ

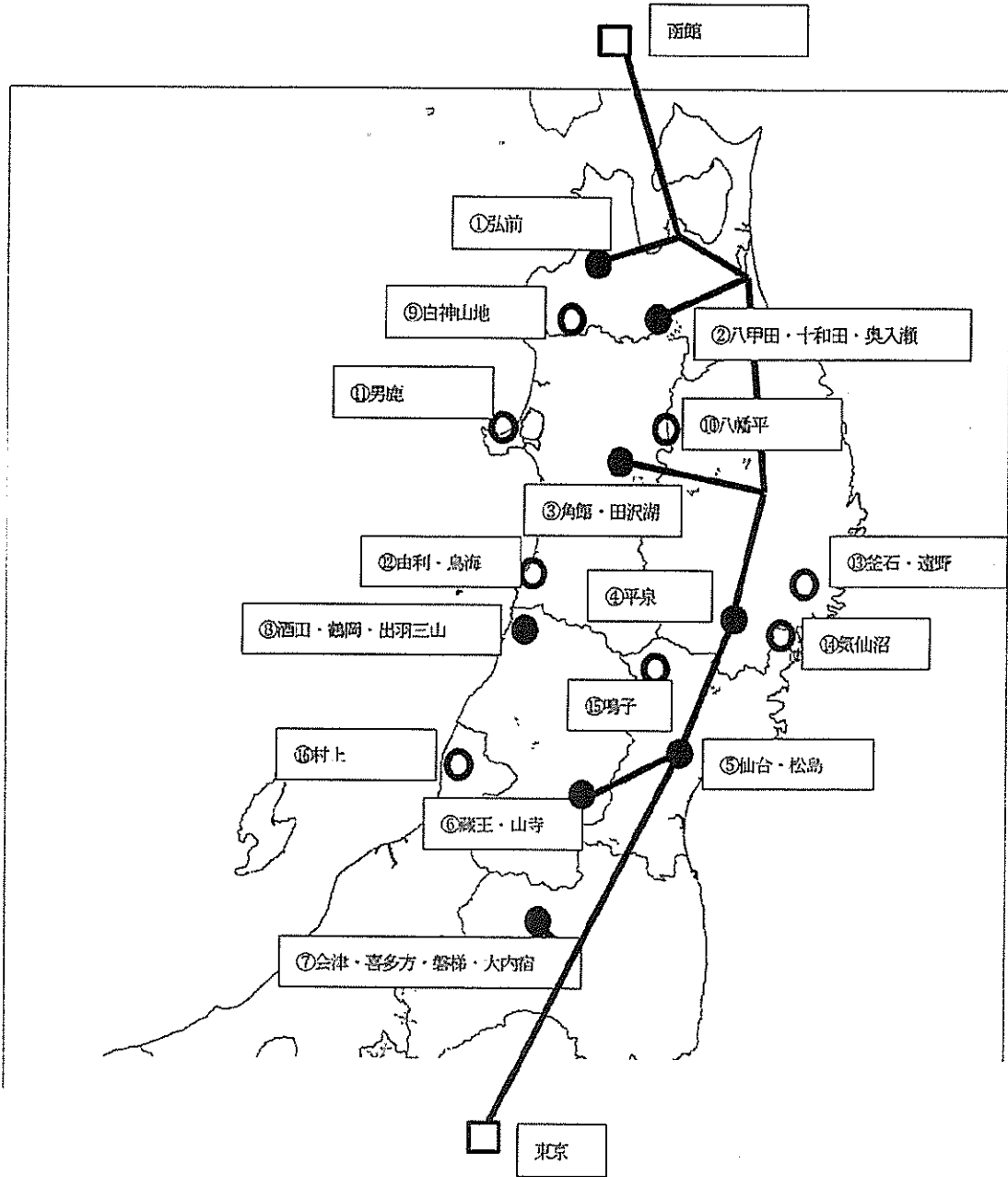
JNTO 市場別マーケティング情報のとおり

[http://www.into.go.jp/jpn/member\\_logins/members\\_service/market.html](http://www.into.go.jp/jpn/member_logins/members_service/market.html)

- 目標設定、成果把握に関する資料

東北運輸局 東北観光基本計画

別紙 対象区域の地図

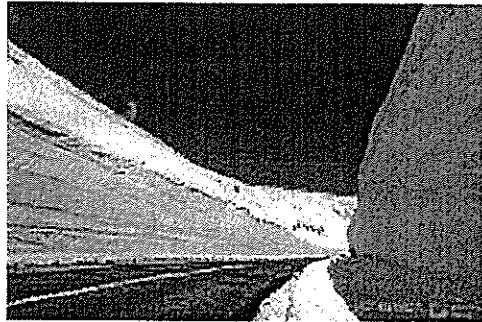




別紙 対象区域の写真 (※ 画像収集中)



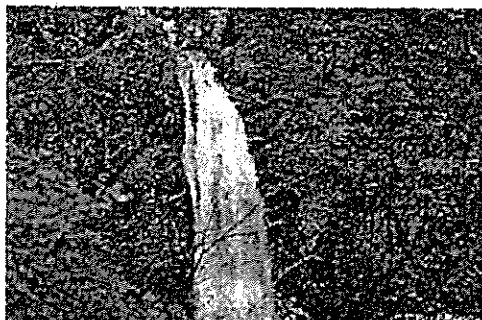
弘前の桜



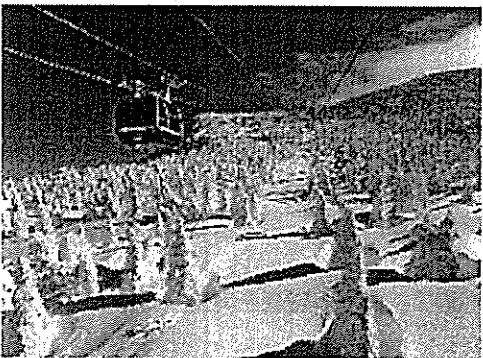
八幡平アスピーテラインの雪の回廊



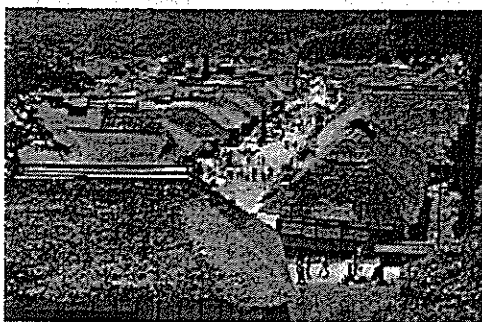
毛越寺坐禅



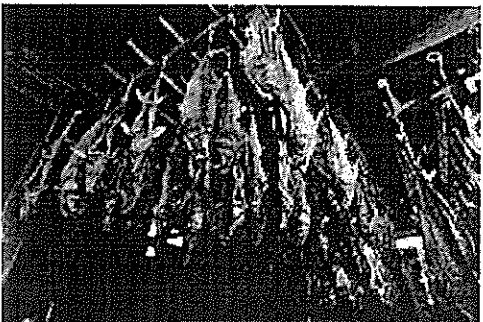
秋保大滝紅葉



樹氷



大内宿



村上の鮭



喜多方ラーメン

## 別紙 コメント

### ■ 外国人から見た東北の イメージについてコメント

国際教養大学アジア地域研究連携機構 副機構長 豊田 哲也 氏より

東北地方の魅力を本学の留学生がどのように感じているか、とのご質問をくださり、誠にありがとうございます。

実は、残念なことに、ほとんどの留学生は東北地方にはあまり魅力を感じることなく、観光というもつぱら京都や東京あるいは沖縄に行っているようで、なかなか秋田以外の東北地方を訪れてくれています。

外国人から見て東北地方の魅力は何か、という問いには、なかなか答えが見あたりませんが、私の記憶の中で、それに近いものをおっしゃられたのは、2007年に東北地方を訪れた元台湾総統の李登輝氏です。「奥の細道に芭蕉の足跡を訪ねたい」とおっしゃっていたのが新鮮に感じられました。

東北地方の在住者には素直に認めがたいかも知れませんが、この地の最大の魅力は、「道の奥（みちのく）」であり、「辺境の地」であることにあるのではないかと思います。

また、みちのく（道の奥）というだけでは、今までもそうした企画はあるでしょうから、最近の歴史への関心の高まりも取り入れて、遺跡観光の要素も入れてみると、新味があるかも知れません。

京の都や江戸の街から遠く離れ、日本の文化のさい果てを体現する地として、その魅力をしみじみと味わうというのが、最高の面白さであるように思います。8世紀の大和朝廷の最前線基地であった秋田城、アイヌの縄文文化を伝える山内丸山遺跡、さいはての地での栄華を伝える金色堂、更には『奥の細道』に詠まれた名跡（新庄、山寺、象潟など）を訪ね、「知らざれる日本の奥深くを訪ねる旅」を企画すれば、日本国内のみならず、外国からのお客様にとっても興味深い旅行プランができるものと思います。

以上、愚見を申し上げます。必要があれば、留学生へのアンケート調査を実施することも考えますので、ご相談ください。

### ■ 留学生からのコメント

- Deep in Japan という発想が良い （スウェーデン人）、
- 国によって文化観光への関心も焦点も異なるので、どの国をターゲットとするかによって売りにする文化歴史資産が変わってくるだろう （リトアニア人）